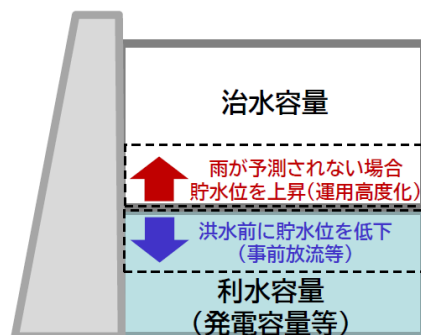
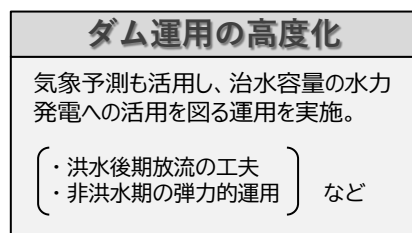


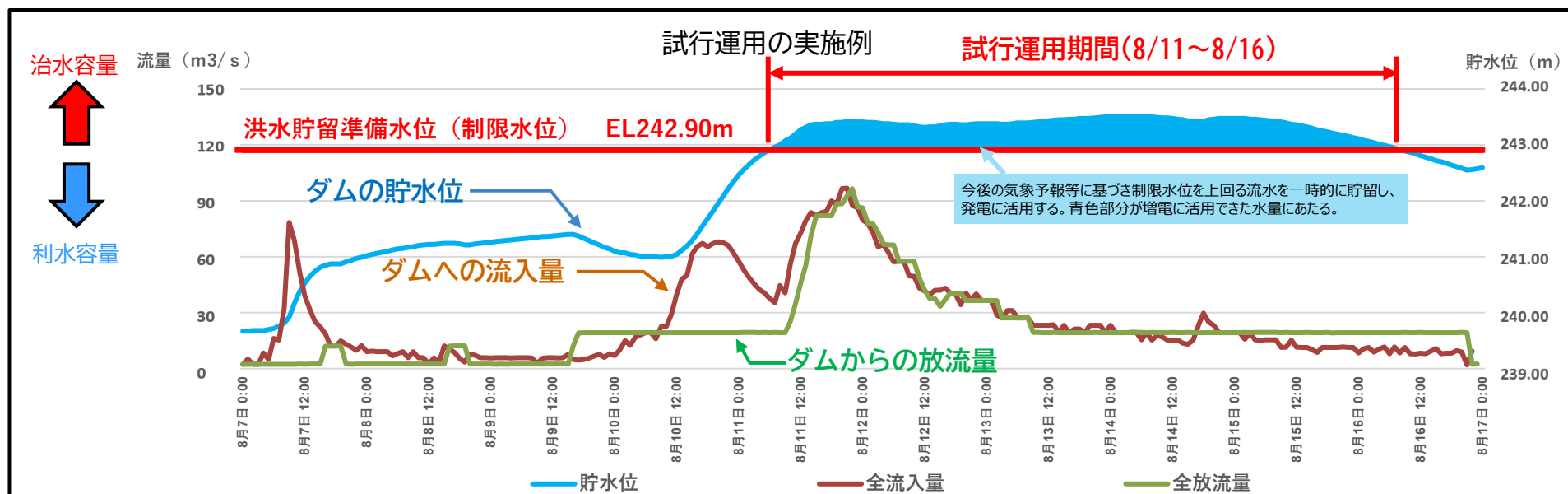
- 土師ダムでは、気象変動への適応・カーボンニュートラルへの対応として、治水機能の強化と水力発電の促進の両立を目的にダムの運用高度化に取り組んでいます。
- 令和7年度は2回の試行運用を行い、通常の運用に比べ約1,110MWhの増電効果がありました。これは約4,260戸（※1）の一般家庭が1か月に消費する電力量に相当するとともに、約560 t（※2）のCO₂削減に寄与したものと試算しています。

※1：一般家庭1か月の消費電力量を260kWh/月として試算

※2：1kWh当たりCO₂削減量を0.51kg/kWhとして試算



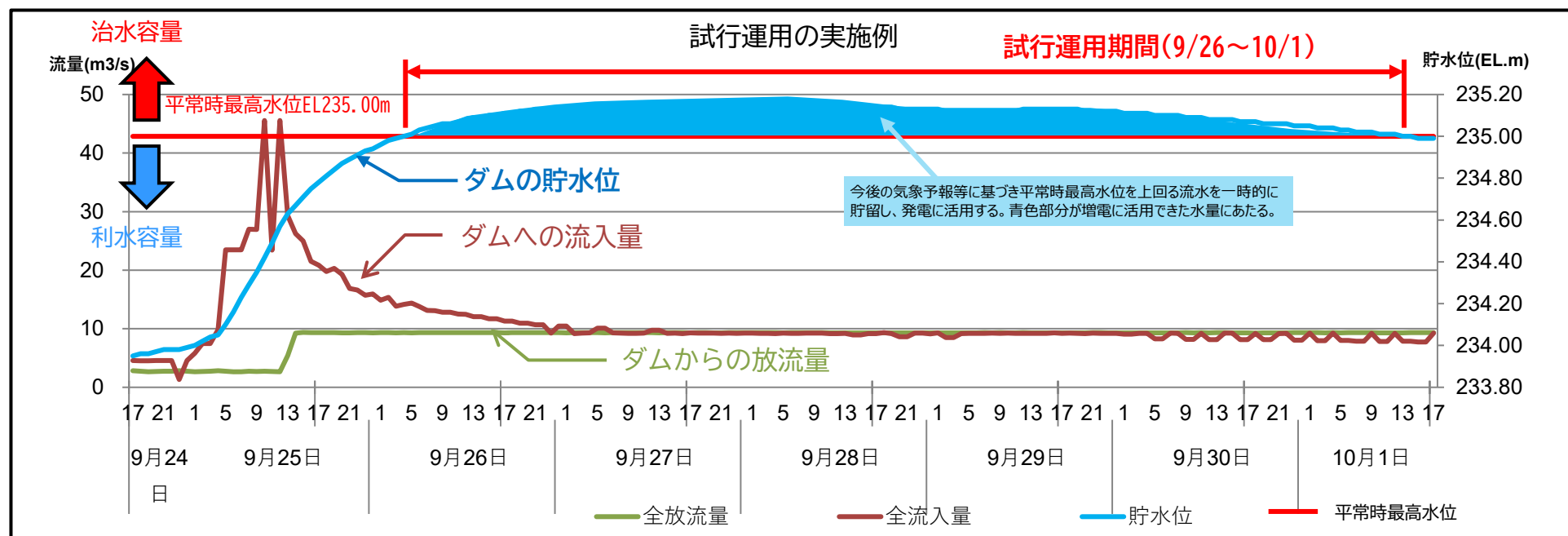
回数	試行運用期間	発生電力量(増電分)		
		電力量 (kWh)	家庭換算 (世帯)	CO2削減 (kg)
1	8月11日 5:00 ~ 8月16日 9:00	510,000	1,962	260,100
2	9月16日 18:00 ~ 9月24日 6:00	600,000	2,308	306,000
合計		1,110,000	4,269	566,100



- 八田原ダムでは、気象変動への適応・カーボンニュートラルへの対応として、治水機能の強化と水力発電の促進の両立を目的にダムの運用高度化に取り組んでいます。
- 令和7年度は3回の試行運用を行い、通常の運用に比べ77MWhの増電効果がありました。これは約290戸（※1）の一般家庭が1か月に消費する電力量に相当するとともに、約39 t（※2）のCO₂削減に寄与したものと試算しています。

※1：一般家庭1か月の消費電力量を260kWh/月として試算

※2：1kWh当たりCO₂削減量を0.51kg/kWhとして試算



- ※ 2 : 1kWh当たりCO₂削減量を0.51kg/kWhとして試算

流量 (m³/s)

貯水位 (EL.m)

試行運用期間(6/30~7/20)

試行運用期間(8/7~8/24)

試行運用期間(9/12~10/24)

治水容量

利水容量

今後の気象予報等に基づき制限水位を上回る流水を一時的に貯留し、発電に活用する。青色部分が増電に活用できた水量にあたる。

洪水貯留準備水位（制限水位）EL351.00m

ダムへの流入量

ダムからの放流量

ダムの貯水位

全流入量

全放流量

貯水位